

定通部だより

ホームページ <http://nagasaki-kokyoso.org>
メールアドレス info@nagasaki-kokyoso.org

2012年
1月6日発行
第5号
発行責任者
今泉 宏

日高教定通部中国・四国・九州2011年学習交流集会 報告

会場：高知会館（高知市）

日程：12月10日（土）

14:00～14:20 開会行事

14:20～17:20 学習会

参加者：濱本功二（大村定時）

（1）日高教より 馬場敏行さん（岡山後楽館）

各地の情勢

（北海道）組合つぶしが起きている。「組合の文書をコピーしたか？」「組合のコピーをした人を見たか？」などの調査があった。

（宮城）夜間定時制で、震災によるJRの不通で通学できない生徒が出た。

（長野・埼玉）日本語を話せない生徒がいる。埼玉には1クラスに3～4種類の言語が飛び交っている。

（大阪・京都）定時制に不合格する生徒が多数出た。私学で授業料無償化があり、私学に流れた。（文科省）交渉してもエリートばかりで定時制の実情を理解していない。

（2）岡山より 馬場敏行さん（岡山後楽館）

- ・岡山は、今年度、確定交渉を3回実施。
- ・岡山の定時制と通信制の高校は、1校が県立で残りはすべて市立である。
- ・11月28日に「岡山県高等学校教育研究協議会」（10年に1回作られる）の最終答申が出た。答申は、ほぼ100%実施される。県教委は、全日制の統廃合をやり過ぎたと反省している。
- ・定通手当が学校によって異なる。（昼間だけの学校、昼間も夜間もある学校によって異なる。）
- ・県立 — ボーナスが上がった。
- ・市立 — 現状通り。



（3）山口より 和田善成さん（岩国商東）

- ・「山口県高等学校定時制・通信制教育検討委員会」が2011年7月に設置。構成メンバーは、経営者組織、校長会、PTA、組合の代表や現場の教職員は入っていない。
- ・上記の「検討委員会」は、現在14校ある県立高校の定時制を東部、中部、西部の3地区に夜間以外の多部制を新設して集約・統廃合するように提言した。（遠距離の生徒は通えなくなる。）

（4）香川より 入江彰一さん（坂出商定時）

- 「県立高校の再編整備基本計画」（平成17年度～平成22年度）の素案～についての意見
 - ・県教委が進めている統廃合の問題点を具体的な事例を挙げて反論している。
- 定時制高校の必要性、存在意義
- ① 仕事をしながら学べる。
（仕事することで、経済的だけでなく、精神的にも自立できることがある。）
 - ② 少人数学級は、自分の居場所を確保出来る。
 - ③ 職業高校においては、様々な専門に関する資格取得に挑戦できる。（資格を取得することで達成感、高校生活にプラスに作用。）

④仕事場からの通学が負担にならないように、通学手段や服装に対して配慮がある。(仕事場がJRの駅の近くにあることは少ない。)

(5) 長崎より 濱本功二 (大村定時)

「2011年度定通部県教委交渉」について

・通信制の養護教諭が非常勤である問題。授業のある日のみの勤務なので、希望する人が少ない。また、通信制の生徒は授業日以外にも登校することが多く、昼間や夜間の定時制の養護教諭が対応することも多く、負担が大きい。

・学校によってスクールカウンセラーが配置されているところとされていないところがある。また、学校と保護者だけでは解決できない問題も多く、スクールソーシャルワーカーの配置が望まれる。

・定時制・通信制教職員配置が、非常勤や再任用の人が多い。

→感想として県教委は通り一遍の回答しかしないように感じた。

(6) 高知より

① 古畑邦明さん (高知北多部制昼間部)

・2003年11月に策定された「県立高等学校再編計画」にもとづき、この10年で県内の定時制・通信制高校は大きく様変わりした。→東部・中部・西部に1校ずつ定時制過程の昼夜開校の多部制単位制高校が設置された。(高知北高校は、1991年から多部制単位制高校である。)

・2003年度39校あった全日制高校は33校、14校あった定時制・通信制高校は12校になった。

2007年度より定時制10校のすべてで学年制から単位制への改編が行われた。

・高知北高校は、不登校経験者が約6割を占める。3年で卒業は半分程度。

・教育課程が複雑すぎる。

② ~次期「再編振興計画」の検討にあたって~

・統廃合に関しては、(全国に比べて)全定ともに緩やかである。地域、教職員関係者の努力によっ

てくい止めている。また、高知県の地理的、交通上の問題もある。定員割れは続いている。

・定通手当は、定額11万9000円で、昼間部は7年前にカットされた。

(7) 佐賀より 松藤宏明さん (佐賀商定時)

・佐賀の定時制は、定員に満たなくても不合格者を出している。教職員が受け入れられる(指導できる)生徒を合格させている。

(この意見に対して)

(香川・工業高校) 実習では、まじめに取り組まなければ非常に危険である。まじめに取り組まない生徒は、実習の授業は受けさせられない。実習は必ず2人の教員で見ている。

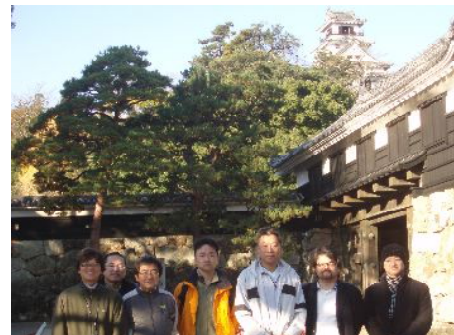
(山口) 山口も定員内で不合格者が出るが多い。しかし、これを理由に統廃合の対象(理由)にされることもある。

(岡山) 岡山も実習のある授業は、まじめに取り組まない生徒がいると危険である。

(高知) 佐賀の入学試験のやり方に対して反対意見を述べているような印象を受けた。

(8) 感想

昨年、今年と2年連続で「定通部の中国・四国・九州ブロック学習交流集会」に参加させていただきましたが、他県の教職員の方々との交流でいろいろな意見を聞き、また、その土地を少しでも知ることが出来たことはとても有意義でした。残念ながら今年は、長崎からは1名の参加でしたが、来年は、多くの人に参加していただきたいと思います。
(定通部長 濱本功二)



2日目 高知市立自由民権記念館見学